

瀬戸内タウンミーティング（鹿忍地区）

平成 23 年 11 月 2 日（水）19 時～21 時

牛窓町公民館鹿忍分館 研修室

参加者：男性 17 人、女性 7 人、計 24 人

行政報告に対する意見と市長の回答

- ・美術館について、当初の入館者見込みと実際の入館者についてどう考えているか。

（市長）1 万 5 千人を初年度目標としていた。実際には 1 万人を割る程度だった。今年度は佐竹先生の画とあわせて、特別展を多くやっていこうとしている。「金子みすず」「アール・ブリュット」などの特別展や備前長船刀剣博物館で開催した「戦国 BASARA」展とタイアップしたイラスト展などをこれまで実施した。来年 1 月には「平山郁夫」展を計画している。今年度の目標は 2 万人。これは長船の博物館が 2 万 5 千人くらいという点から想定している。美術館友の会の発足など、入館者を増やす取組を続けている。

個人的には美術館のあるまち、というのは魅力があると感じている。もっと盛り上げていきたい。

- ・村田製作所の誘致や南北道の効果の検証はどうか。新たな施策についてはそういった検証を踏まえて実施して欲しい。

（市長）検証にも時間はかかるが、慎重に進めて行きたい。南北道は引き継いだ以上、活かしていきたい。長船側の宮下地区でも企業誘致をやりたいと考えている。震災後、企業の移転や機能の分散が相次いでおり、今なら誘致できる可能性があると感じている。

また、誘致の際には車の流れをよくしたいと考えており、南北道をブルーラインにつなぐことでよい方向にもっていけると思っている。

参考までに、現在道路を作るためには 1 メートル当たり約 20 万円。下水道は通常 1 メートル当たり 20 万円で、高くつくところは 1 メートル当たり 50 万円を超えるところもある。こうしたインフラについては、受益のある後年度の人にも負担をお願いしたいという意向で基本的に借金をしてつくっている。

・潮の干満の間、約 12 時間で 200 ミリの雨が降ると鹿忍では必ず浸水するところがある。その地域だけでも早く対応をしてもらえないか。

(市長) 台風災害では心配をかけた。どこに排水するか、という問題があるが、検討を続けている。一番いいのは沖に樋門をつけることだが、下水道の事業にはならず、県事業となるため、時間がかかることになる。また相談させてもらう。

・排水口を高くすれば排水能力が高まると考える。現在の排水口の位置は低い。

(市長) なぜ、現在の位置になっているのか、について確認する。その上で高くできるようにであれば対応も考える。

・鹿忍の地形はどんぶり型であり、溝に泥がたまりやすい。将来、高齢者ばかりになったときに川掃除ができなくなる可能性が高い。

(市長) 幹線道路については市が掃除をしているところもある。建設課に相談してもらいたい。

・このたびの台風後に見てもらったが、もう少し泥がたまれば掃除もできるが、今の状態では難しいといわれた。地域で出来る限界を超えている部分もある。

(市長) 現在の自治会活動補助金では 2 分の 1 の補助となっている。これについては大きな自治体になったことで実情を鑑みた補助制度になりにくい部分がある。ただ、生活に直結することなので、改めて相談してもらいたい。

・農家が高齢化しており、耕作放棄地が増えている。美観の観点から問題があると思う。

(市長) 言われるとおりである。台風などで地盤が緩み、崩落が起きた際には対応が難しい。便利が悪いところから荒れていく。跡継ぎがおらず、作業がしやすいところだけ耕作しているという話も聞く。

・デマンドバスについて、70 歳以下は利用しようと考えていないと思うが。

(市長) 皆さんが将来にわたって安心して暮らせるように考えている。デマンドバスについては走らせながら、利用してもらいやすいものにしていきたい。

・最近、雨の降り方がひどくなっている。雨量計を設置して、降水量をお知らせできるようにしてはどうか。昔は小学校にあったように思う。

(市長) 最近では局地的に大雨が降るようになった。国でもより細かな地域での雨量を測定する方法を考えている。我々も考えたい。

- ・ほんぶしんに津波の高さの目安を表示している。瀬戸内市でも出来ないだろうか。
 - ・合併前だったか、地区ごとに地図を出していなかったか。
- (市長) 津波の想定がかわってきている。看板などでの表示については地域で決めてもらえればと思う。役所からお願いしてやってもらっても碌なことにならず、地域の皆さんで考えてもらい、そこに行政がお手伝いする形で取り組みたいと思っている。

地域資源と活性化について、意見交換

- ・大坂城残石群は前島の奥の方にある。フェリー乗り場の近くまで降ろしてくれば見に来る人も増えないだろうか。
- ・牛窓とは関係ないが、渋染一揆の碑が市内にあるはず。
- ・周遊コースを設定してはどうか。

- ・水産試験場を水族館にし、教育旅行のコンテンツとしては。また、水産大学の設置や誘致を考えては。

(市長) 大学に来てもらうことも考えたい。水産試験場については中を見てもらえるようになっているが、もっと PR が必要。

- ・南瓜雑煮(かぼちゃ、あずき、うどん、さとう)というものがある。

(土井) 郷土料理として学校給食で出したりしている。テレビでも取り上げられたことがあるが、あまりおいしくないと評された。

- ・米のない時代の食料だったと聞く。

(市長) お店で出したら珍しがって来てくれそうな気もする。

- ・ひなびた感じがよく、リタイア後の 4 年前に京都から引っ越してきた。畑を借りてやっているが、都会では貸し農園といった農業を手軽に体験できるところがある。牛窓だと 1 反当たり年 1 万円で借りられる。過疎のいいところというのは「自然環境のよさ」「何も無いところ」「変わらないところ」であると感じている。逆転の発想でこじんまりしたよさを PR しては。また力キやノリなどの体験学習などが観光資源として売り出せないか。

- ・南瓜をカステラの生地に練りこんだものがある。また、ナスや馬鈴薯を潰したもので漬けたものがある。